社会福祉法人
大念仏寺
社会事業団

★ボ・ドーム大念仏
★いちょう保育園
★大念仏乳児院
★いちょうベビーセンター
★ひらのドリーム園

季刊誌　つぼみ
第14号

第14号
平成24年（2012）４月１日
発行所　社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
発行人　理事長　杉田善久
編集協力
藤森雄介　淑徳大学
国際コミュニケーション学部
渡邊義昭　淑徳大学　総合福祉学部

花ばたけ

「初めての好きを大切に」

いちょうベビーセンター
園長　川上　明

昭和五十五年、当時の大念仏寺母子寮少年指導員として採用され、日々子ども達に囲まれながら楽しく仕事していました。

その後平成二年に母子寮の施設長、平成十二年にいちょう保育園・いちょうベビーセンター専属の園長兼務。平成十六年よりベビーセンター専属の園長になり現在に至っております。

その間の対象児童の年齢はどんどん小さくなり、ついに対象が乳幼児になりました。

初めての社会生活をベビーセンターで経験する子どもたちがほとんどで、様々な体験をもとに生活の知恵が芽生えるところです。したがってすべてが初めてという事になり、子どもの人生にとっても重要な事なのです。

はじめて集団で遊ぶ、お友だちと一緒に給食を食べたり、絵本を読んだり、歌を歌ったり、喧嘩をしたりと、いちょう保育園へ進級していく為の基礎部分を勉強しています。

最初が肝心で、色んな事柄にチャレンジしても、認めてもらえなかったり、ほめられなかったりすると、うまくその後の関わりが持てなかったりするので、非常に悲しい結果を生むことになります。言いかえれば、「初めての好き」を大切にすることで、幼児期、学童期、思春期へとスムーズに移行できるように専門性を持って関わらなければなりません。

職員ともよく話し合うのですが、生まれてきてまだ一年や二年しかたっていない子どもにそこまで高いレベルを求めていいのだろうか？

しかし、チャレンジ精神を持って、出来る範囲で高度な要求も必要なのかな…と思ったりもします。

いずれにせよ、子ども達や職員が、毎日ワクワクドキドキするような、魅力あふれるベビーセンターになれる様、頑張ってまいります。

いちょうベビーセンター

ベビーセンターの一日★

延長保育

7:00	順次登園 （挨拶・お家での様子・視診） 手洗い・好きな遊び
8:30	各クラスへ
9:20	排泄・手洗い・着替え・検温・体操 朝の挨拶・歌・出席調べ 朝のおやつ（番茶・スナック） 水分補給・野菜スープ（乳児） 睡眠・　授乳　　（乳児）
10:00	課題のある遊び・好きな遊び・散歩 玩具・日光浴・外気浴・スキンシップ
10:30	給食・離乳食～普通食（乳児）
10:45	給食 1歳児　うがい・2歳児　歯磨き
11:30	昼寝　（乳児）
12:00	昼寝 排泄・着替え
14:30	目覚め 排泄・着替え
15:00	おやつ（牛乳、手作りおやつ） 補助食・授乳（乳児）
16:00	降園準備・自由遊び 順次降園（園での様子）
19:00	閉園（延長保育終了）

おわかれかい

豆まき！

いちご狩り

～　もくじ　～

１面　花ばたけ・いちょうベビーセンター
２面　ひらのドリーム園・ボ・ドーム大念仏
３面　いちょう保育園・大念仏乳児院
４面　ご寄附・ご寄贈者・事業団
つぼみ通信　（古川恵造先生）
編集委員会手帳・ドレミ広場

法人内研修会実施
平成23年度

年	月日	研修内容	講師名
H23	5月27日	「一般的に適切な今の時代における諸問題とコンプライアンスについて」	植田勝博氏
H23	6月24日	「乳幼児の食育について やさしく・わかりやすく・たのしく」	黒崎一彦氏
H23	10月20日	「マナースキルアップ意識向上研修 ～豊かな心を育み信頼関係を築こう～」	はしもとのり子氏
H23	12月12日	「職員のリフレッシュヨガ」	岩橋有子氏
H24	2月10日	「気になる子どもに対する接し方について」	嶋谷和之氏

救命講習実施
平成23年度

平成２３年１１月２５日（金）と１１月２９日（火）に、地下一階研修ホールで救命講習を実施いたしました。

ドレミ

「ピンポーン！」ドレミにインターホンの音が鳴り出します。

次々とお友だちがやって来て、元気よく挨拶をしてくれます。

「おはようございます！」「おはよう！…」と、色々な挨拶が聞こえます。満面の笑顔、お母さんの影からちょこんと覗かせるはにかんだ顔、ドレミ初めて遊びに来るお友だちは少し緊張気味、子ども達は色々な表情をみせてくれています。

そしてドレミは、子どもとお母さんの笑い声、お母さん同士の会話、子ども同士のやり取りの話し声などあっという間に賑やかになります。スタッフが作った年乳パックハウスを出たり入ったり、ボールプールではお母さんが作るボールの波に大はしゃぎ！親子並んで絵本を読んだり、おままごとコーナーでは、小さなコックさんが料理作りに夢中、そしてお帰り前には、ドレミのお友だちが大好きな手遊び歌、むむじゃんけん！で大盛り上がり！親子みんなでドレミを楽しんで頂いてます。新年度を迎え、新しいお友だちも来てくれる事と思います。どんな出会いがあるのか、スタッフ一同楽しみにしています。

ご寄附・ご寄贈者

みなさまのご厚情心より御礼申し上げます
平成23年12月から平成24年１月まで
順不同、敬称を略させていただきました

【大念仏寺社会事業団】	
理事長　杉田善久	金3, 000, 000円
【ボ・ドーム大念仏】	
森美千代	子ども服
加地隆子	三段ボックス・バッグ
株式会社ユー・エス・ジェイ	クリスマスメッセージ・スタンド
井村屋株式会社　関西支店	中華まん4種
下田　誠	衣類・玩具
平野警察署　署員（パザー売上）	金60, 000円
田村加奈	衣類
全国農業協同組合連合会愛媛県本部	いよかん
大西園芸	金20, 000円
プロミス・読売光と愛の事業団	金51, 620円
【大念仏乳児院】	
（株）P&G	紙オムツ
日本赤十字社大阪府支部会	布オムツ・パジャマ他
日本ベビーフード協議会	ベビーフード・イオン水
（株）グットウエイ	人形・マグボトル
大阪生命保険協会	日衣紫外線殺菌灯付ロッカー・そば
（株）ジェイストーム	金120, 000円
毎日新聞大阪本社社会部 愛の手チャリティー	金20, 000円
【ボ・ドーム/大念仏乳児院】	
大阪本場青果卸売協同組合	みかん
大阪レッグニット卸商協同組合	靴下
平池正則	クリスマスケーキ2種・おかし
田中瑞修	米・餅・あずき
松本春昭	みかん・ばなな

つぼみ通信

「間合い」

縁あって大念仏寺の子どもたちの治療をさせていただいています。医師として診察をするようになってからもう30年以上にもなりますが、未だに判らないことは多々あります。

その一つが、患者と医師の距離という問題です。剣道の間合いと同じで、両者が遠すぎると竹刀は届かない、近すぎると有効な一本を奪えない。診察するとき、患者さんとの距離が遠いと心を開いて治療をさせてくれないし、近いとこちら側の感情が入りすぎて治療方針に迷いが出てしまう。遠すぎず、近すぎず。これが実に難しい。医者になりたての頃、教授に患者の接し方を質問すると、先生は「自分の親や子どもならどうするかを考えて治療しなさい」と言われました。でもそれでは近すぎ(?)と思いつつ未だに自問自答しています。せめて死ぬまでには答えを見つけたい、と淡い期待を抱きつつ診察をする毎日です。

耳鼻咽喉科は、子どもと関係の深い科です。

子どもはその特性上、風邪をひいたあとすぐに副鼻腔炎や中耳炎を起こしやすく、又最近は抗生物質の効きにくい耐性菌が増え治りにくい症例が多くなってきました。特に小さい子どもたちは自分ではっきりとものが言えないためその心の声に耳を傾けつつ間合いを計りながら接してゆきたいと思います。

古川耳鼻咽喉科　古川恵造

お知らせ

各施設にご意見箱（きっくん）を設置しています。ぜひご活用下さい。

【お問い合わせ先】
社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
広報編集委員会
〒547-0045
大阪市平野区平野上町1丁目7番3号
TEL（06)6791－5410
FAX（06)6791－7774
URL http://www.dsw.or.jp/

編集委員会手帳

自分の気持ちを相手に表現をしようとすると、なかなかうまく言葉に出来ないことがある。さらに、自分が思ってもいない言い回しをしてしまい、相手を傷つけたり、不快な想いにさせてしまうこともある。

子ども達も、日頃はなかなかうまく言葉に出来なかったり、うまく甘えられなかったり、うまく意思表示ができなかったりする。しかし、劇や行事での発表等を通して、人前で表現する力をつけてきた子ども達、少しずつ、人前で緊張せず表現できる子ども達は頼もしい。様々な経験を通して、子ども達は大きく成長していると、季刊誌に掲載する写真を選びながら感じました。

ボ・ドーム大念仏　M